

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	社会福祉法人福知山学園 第三翠光園	施設 種別	障害者支援施設（施設入所支援・ 生活介護事業・就労継続支援 B 型）
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」		

2010年 4月27日

総 評	<p>社会福祉法人福知山学園は、昭和34年に社会福祉法人が設立され、段階を追って施設整備を進められ、昭和54年に本施設である第三翠光園が竣工されました。永年にわたり地域のなかで障害者支援に取り組んで来られているとともに、昨今の障害者自立支援法への移行も平成20年に完了する等、伝統を踏まえながらも社会の潮流にそって運営をされていることが伺えました。</p> <p>組織理念である「常にほほえみを絶やさず、明るく、やさしく、心をこめて い・の・ち・い・き・いき」の言葉どおり、ヒアリング時に対応された職員の方の意識も高く、自ら勉強会を開いて職員の知識を高めるという取組みからも、サービスの質の向上に対する意欲が伺えます。また、経営コンサルタントを積極的に導入し、財務分析、経営分析を行っているだけでなく、人事考課制度の導入もされており、総合的に高い意識と実践に取り組んでいる施設であると見受けられました。</p> <p>平成20年の新体系移行の際に新たに開設した日中活動作業場である「友就館」は、あいにくの悪天候のため本調査において施設に赴き見学することは出来ませんでした。そこで作業された製品の販売等を通して地域との交流を行っているとの状況を聞き取ることができました。また、地域団体の代表者会議にも声をかけ、地域の喫茶店やレンタルショップにも施設の会報誌を置いていただく等、「地域と共に歩む」という理念を実践し、入所されている利用者も地域の住民であるという認知を高めてもらうための取組みは高く評価できます。</p> <p>施設のもつ機能の地域還元として「陶芸教室」を計画されていることをお聞きしました。ぜひ実現されるよう期待しています。また、次世代を担う従事者の育成として社会福祉士等の実習生の受け入れに対してもより質の高い指導をお願いいたします。</p> <p>今回の訪問調査時だけではなく、日常的に職員の方の仕事に対する意識が非常に高いことは準備された書類からも伺え、大変スムーズに調査を行うことができました。</p> <p>そして、利用者さんたちの笑顔とフレンドリーなあいさつが印象的な施設でした。</p> <p>今後も継続的に自己評価を行い、自らのサービスを振り返る機会を設けることで、質の高いサービスの維持向上に取り組まれることに期待します。</p>
--------	--

<p>特に良かった点(※)</p>	<p>I－1－(2) 理念・基本方針の周知 理念や基本方針、事業計画、事業報告に関しては、家族会等で資料を配布して説明を行っている。また利用者で組織されている自治会でも取組みの説明等を行ったり、理念が掲載された施設の紹介ビデオを作成・上映したりしている。</p> <p>II－1－(1) 経営環境の変化等への適切な対応 経営コンサルタントによる事業経営をとりまく環境情報の分析、法人本部に設置されている地域・家庭相談支援センターによる情報収集などが積極的に行われている。</p> <p>III－2－(3) サービス実施に関する適切な記録 記録管理の責任者は業務文書にて規定され、記録の保管・保存に関しては、運営規定に定められている。個人情報保護・情報開示に関する教育や周知は、資料配布・説明を行っている。</p> <p>A－1－(1) 利用者の尊重 ・利用者の主体的な活動を尊重するため、自治会担当の職員を2名置き、自治会の中でそれぞれが役割を決め、職員がフォローをするようにしている。月に一回「オープンプログラム」という全員が外出する機会があり、希望を聞きながら外出支援計画を策定している。 ・利用者の自治会が組織され、利用者の声を施設へ反映させる仕組みが確立している。また、施設から利用者への説明責任も果たしている。さらに、年に1回利用者から満足度アンケートを実施している。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p>II－2－(4) 実習生の適切な受け入れ 実習の受け入れに関しては、マニュアル、実施要綱が整備され、学校・本人との機密保持契約書、同意書、誓約書も整備されているが、実習指導者に対する研修は行われていない。</p> <p>II－4－(1) 地域との関係の適切な確保 地域への行事参加、販売を通じた交流などはもたれているが、利用者が企画から参加するような地域交流はない。施設として家族と職員が交流するふれあい交流会を実施している。近々、陶芸教室の開催を予定しているが地域の方々が参加できるような研修会や勉強会はまだ実施されていない。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	社会福祉法人福知山学園 第三翠光園
施設種別	障害者支援施設
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」
訪問調査日	2010年3月9日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-1(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-1(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	A	A
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A	A
	I-2-1(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	A	A
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

I-1-1(1)	法人理念は明文化されパンフレット等に分かりやすく明記されている。また、法人全体の事業計画書に、理念に基いた基本方針がまとめられており、それを踏まえて、各施設毎の事業計画が作成されている。
I-1-1(2)	理念や基本方針、事業計画、事業報告に関しては、家族会等で資料を配布して説明を行っている。また、利用者の自治会でも取り組みの説明等を行ったり、理念が掲載された施設の紹介ビデオを作成したりしている。
I-3-1(1)	関係法令に関してはとりまとめてファイルされており、職員がいつでも見られるように職員室に設置されている。
I-3-1(1)	管理職の役割と責任の表明として、人事考課制度にて、管理職が職員から評価される制度を設けている。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A	A
		③ 外部監査が実施されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	B
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		B	B	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	B
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

II-1-(1)	経営コンサルタントによる事業経営をとりまく環境情報の分析、法人本部に設置されている地域・家庭相談支援センターによる情報収集などが積極的に行われている。
II-2-(1)	人材の具体的なプランとして、職員本人の希望にあわせて資格取得を支援したり、研修へ参加できる仕組みが整備されている。年間の研修一覧を作成し、職員へ希望を聞いている。
II-2-(2)	職員の就業状況の把握として、有給休暇の残日数を年2回張り出して確認をできるようにしており、年間で消化できるように配慮されている。カウンセラーや専門家の配置はなされていないが、特に配慮が必要な職員に関しては、管理職がじっくり話をきいて相談にのる体制を整えている。
II-2-(3)	教育・研修に関する基本姿勢として、事業計画の「法人経営基盤の強化」という項目の中で、支援・サービスレベルの向上という目標を掲げ、専門性を身につけるための教育・研修の方針が明示されている。年度ごとに研修計画が策定されている。
II-2-(4)	実習の受け入れに関しては、マニュアル、実施要綱が整備され、学校・本人との機密保持契約書、同意書、誓約書も整備されているが、実習指導者に対する研修は整備されていない。
II-3-(1)	福知山学園としてリスクマネジメント指針を策定しており、緊急時の対応マニュアルの各種整備、事故報告書、ヒヤリハット報告書の徹底もなされている。年度事業報告には、その件数や発生場所などの分析も明記されている。
II-4-(1)	地域への行事参加、販売を通じた交流などは持たれているが、利用者が企画から参加するような地域交流はない。施設として家族と職員が交流するふれあい交流会を実施している。地域の方々に参加できるような研修会や勉強会はまだ整備されていない。近々、陶芸教室の開催を予定している。
II-4-(3)	福知山市の社会福祉施設連絡協議会、知的障害者福祉協会、自立支援協議会等の地域の連絡会に定期的に参加し、情報共有を行っている。また、相談支援センターを通じて、地域の福祉ニーズを把握したり、地域の自治会役員や老人クラブ、消防団等が属する「長田団地地域内団体代表者会議」にも出席している。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-1(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-1(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			A	A	
Ⅲ-2-1(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-1(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-1(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	A	
	Ⅲ-3-1(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-1(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-1(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

【自由記述欄】

Ⅲ-1-1(1)	理念や基本方針に利用者を尊重したサービスの実施が明記され、事業計画に反映されている。身体拘束や虐待の防止についても職員から同意書をとっている。
Ⅲ-1-1(2)	利用者の自治会が組織されている。また、年に1回、利用者に向けて満足度のアンケートを実施しており、それをもとに改善をしていく体制を整えている。
Ⅲ-1-1(3)	利用者からの意見については、自治会を通して意見を反映させている。また、日常的には対応マニュアルを整備しており、事務所等5箇所においている。利用者からの意見があった場合には、朝礼や宿直日誌を通じて申し送りを行っている。マニュアルに関しては、マニュアル係を決めており、必要に応じて見直しを行っている。
Ⅲ-2-1(1)	サービス内容の自己評価に関しては、サービス管理責任者等が出席する業務確認会議のなかで検討し、年に1回以上の自己評価を行っている。また、業務構成検討会議、リーダー会議等で、評価分析を行うとともに年度事業報告書にその結果や課題が掲載されている。
Ⅲ-2-1(3)	記録管理の責任者は業務文書にて規定されている。記録の保管・保存に関しては、運営規定に定められている。個人情報保護・情報開示に関する教育や徹底は、資料配布・説明を行っている。
Ⅲ-3-1(2)	サービス開始にあたり、家族と利用者も同席して、重要事項説明等を行うとともに、施設紹介ビデオを見てより具体的な説明を行うようにしている。サービスの終了にあたっては、ほとんどケースがないためマニュアル化されていない。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート

障害者児施設

受診施設名	社会福祉法人福知山学園 第三翠光園
施設種別	障害者支援施設
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」
訪問調査日	2010年3月9日

【付加基準】障害者・児施設版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 利用者の尊重	(1)利用者の尊重	① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている	A	A
		② 利用者の主体的な活動を尊重している	A	A
		③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている	A	A
		④ 利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある	A	A

【自由記述欄】

A-1(1)	利用者の主体的な活動を尊重するため、自治会担当の職員を2名置き、自治会の中で、それぞれが役割を決め、職員がフォローをするようにしている。月に一回、オープンプログラムという全員が外出する機会があり、希望を聞きながら外出支援計画を策定している。
--------	--

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 日常生活支援	(1)食事	① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている	A	A
		② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている	B	A
		③ 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している	A	A
	(2)入浴	① 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している	A	A
		② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている	A	A
		③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である	A	A
	(3)排泄	① 排泄介助は快適に行われている	A	A
		② トイレは清潔で快適である	C	A
	(4)衣服	① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している	A	A
		② 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいたときの対応は適切である	A	A
	(5)理容・美容	① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している	A	A
		② 理髪店や美容院の利用について配慮している	A	A
	(6)睡眠	① 安眠できるように配慮している	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 日常生活支援	(7)健康管理	① 日常の健康管理は適切である	A	A
		② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる	A	A
		③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている	A	A
	(8)余暇・レクリエーション	① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている	A	A
	(9)外出、外泊	① 外出は利用者の希望に応じて行われている	A	A
		② 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている	B	A
	(10)所持金・預かり金の管理等	① 預かり金について、適切な管理体制が作られている	B	A
		② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる	A	A
		③ 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている	A	A

【自由記述欄】

A-2(1)	食事に関しては、嗜好表を作成し、利用者毎の対応を食堂に掲示している。食卓には、出切るだけ味付けを選択できるようサラダのドレッシングを複数種類用意したり、一味などは小袋分けにして出したりしている。
A-2(2)	入浴に関しては、マニュアルが整備され、個別の入浴支援確認シートが準備されている。
A-2(3)	排泄介助に関しては、マニュアルを整備しており、チェックリスト等が個別に準備されている。また、トイレは構造上、廊下の空調とつながっており、便座暖房も備え付けられている。
A-2(4)	外出支援の際に衣服の買い物を利用者とともにいき、本人の意向を尊重するようにしている。
A-2(5)	理容美容にかんして、身だしなみマニュアル、理容マニュアルを策定している。外出の際、整髪を行うこともある。散髪名簿も設置し、把握をしている。
A-2(7)	日常の健康管理に関して、個別のプロフィールリストを準備しており、利用者健康管理表を随時更新して常に新しい情報が共有できるように配慮している。
A-2(10)	預かり金は後援会が規定を策定し管理している。可能な人は、自己管理を行っている。喫煙に関しては、本人と話し合っ、ルールを決め、時間を決めて喫煙するようにしている。